

安倍暴走に審判下す選挙

伊那民報

発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ
「J C P 上伊那」



安倍首相が、森友・加計の疑惑隠しを狙った衆院解散は、10月10日公示、22日投票に。「国民に冷たく、戦争する政治を変える絶好のチャンス」と西箕輪の城田洋子さん(71才)は言います。

日本共産党は、総選挙を「日本の命運を分ける歴史的な政治戦、野党共闘の勝利と共産党の躍進に全力をあげる」としています。一方、伊那では野党や市民の代表者らが「衆院選も共闘して闘おう」と取り組みの準備を急いで進めています。

自公政治はもうゴメン

「定員1名の5区での勝利には、野党がまとまり闘うのが当然だね」(60代女性)。「参院選のように、野党の議員を出し、自民党の議席をなくしたい」(40代女性)。「戦争や暗闘社会はゴメン。国会で安倍さんの悪い政治に一言も言えない議員はもうゴメンだ。今度は野党候補を支持するよ」(80代男性)などの声が寄せられています。

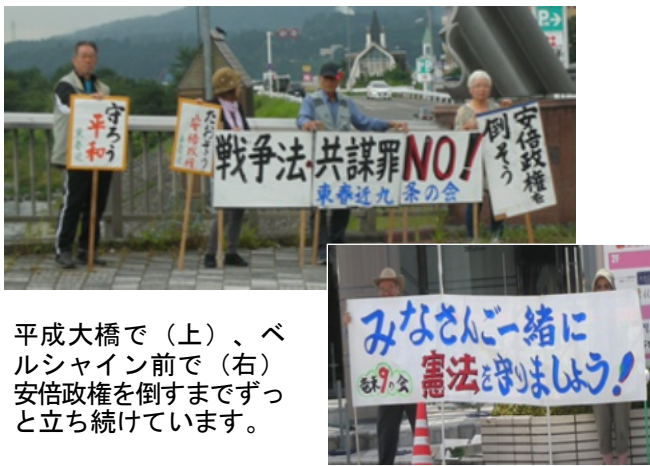
5区で必ず議席確保を

解散総選挙がとりざたされる中、上伊那の市民らが9月21日伊那市内で集会を開き、衆院選の5区で野党と市民が力を合わせたかうとして、市民連合の結成を確認。候補者の1本化や政策づくりなど

急いで取組むとしています。

まともな政治へ力合わせる

日本共産党上伊那地区委員会は、野党と市民の本気の共闘で5区で



平成大橋で(上)、ベルシャイン前で(右)安倍政権を倒すまでずっと立ち続けています。

の勝利と、北陸信越の比例区で共産党2議席を確保するとして全党員と後援会員の総決起を呼びかけています。解散・総選挙は、悪政と疑惑隠しの安倍政治に広範な国民が立ち上がり、追い詰めた結果とし、政治を変える絶好のチャンスととらえて、広範な国民の皆さんと力を合わせたかいをすすめています。

「工業用地の取得」に反対!

9月議会に公道原の元JA肉牛団地用地取得の議案と、取得費等で1億3640万円の特別会計補正予算、これに係る道路・上下水整備費3320万円の一般会計補正予算が提案されました。この土地は9筆6名が所有。JAからの利活用の問い合わせに、伊那市が購入を検討、最適地として提案したものです。

党市議団は、市は既に内規の5万㎡を超える工業団地用地を所有していること、売の先も決まっていなかったことから、急いで買う必要はなく、あっせん方式にするべきとして反対しました。

市民からは、「工業用地より、国保税の引き下げを」や「高齢者福祉に税金を使って」との声が多数寄せられています。(前沢 けい子)

地 蜂

十数年前、NEC付近の畑で新聞配達時によく会う女性が「ここを売ってくれと市から言われて」と寂しがっていた。土地開

発公社は優良農地を造成し破綻、広大な売れない土地を伊那市は引き継いだ。上の原工業団地B区画(約3ha)では税金を3億円以上つぎ込み42%引きで大廉売、未だ売れず▼今年の3月議会。4年間の土地の売却で3社が操業し、その社員数はわずかに40人、税収は2200万円と答弁。市議が六道原工業団地の旧美簗肉牛団地の約1万㎡を工場用地として活用したらどうかと質問。地権者は「いまさら返されても困る」と。市では公社の解散後、土地保有の上限を概ね5万㎡と決め現在6・4万㎡保有している▼9月議会ではさらに肉牛団地跡地を買収し下水工事などインフラ整備すると提案。市長は飯島光豊議員の質問にこの土地を欲しい企業が複数あると答弁した。念書もなくNECに売却できなかった時と同じセリフが▼箕輪町、南箕輪村、宮田村の土地開発公社は宅地以外の土地を保有していない。「企業から声がかかったら斡旋する」と賢明な施策だ。「開発公社が解散し莫大な血税を使った轍を踏まず、企業に土地を斡旋して個別に売買交渉してもらえば」と飯島議員は質問。もっとも主張である。(E・K)

「平和を願う行動」 くり広げる

国連で核兵器禁止条約の署名がはじまった9月20日、各国政府に条約参加を迫る世界同時行動、「平和の波」が日本を起点にスタートしました。

平和の波
キャン
ドルウ
オーク

いなつ
せ北側広
場で9月
20日夕方

「核兵器
禁止条約
に日本政
府は署名
を」など
を求める



通り町に行く平和の波ウォーク

集会に約50人が参加し、集会後、伊那北駅までパレードを行いました。

今年の原水禁大会での、「核兵器禁止条約に各国で署名が開始される9月20日から26日まで『核兵器禁止・廃絶』に向けてアピールする」との提案を受け、上伊那原水協と民主商工会、GFP上伊那が主催しました。

パレードでは、参加者が懐中電灯やライト、光るブレスレットなど光るものを持ち「日本政府は核兵器禁止条約に署名せよ」「核禁止条約に署名する政府をつくろう」などと呼びかけました。

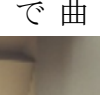
沿道から「核を使ったら世界が破滅する。無くすことが大事」（40代男性）などの声がありました。

第8回 平和音楽会

「こわしてはいけない
く無言館をつたう」

9月17日、うたごえサークル「ぎぎむし」主催の第8回平和音楽会が駒ヶ根市文化会館で開催されました。

今回披露した合唱組曲「こわし
てはいけなく無言館をうたう」
は、上田市の戦没画学生慰霊美術
館「無言館」開館20周年を記念し
て、館長の窪島誠一郎さんが作詞
池辺晋一郎
さんが作曲
したもの
です。



晋一郎さん

全県から
公募で集まつ
た100人の
合唱団は、
平和憲法を
変えようと
する政治の



合唱団と指揮者の池辺晋一郎さん

動きが強まる中、「平和をこわしてはいけない、いのちを大切に」の思いを、窪島さんを迎えて、池辺さんの指揮で歌いました。

窪島さんと池辺さんの対談もあり、参加した約1000人の聴衆とともに平和への思いを共有した音楽会になりました。

核兵器は絶対禁止に！

一 原水禁世界大会報告会

9月22日になつて、原水爆禁止世界大会の報告会が、上伊那原水協の企画で開催され、約60人が参加しました。

医療生協・GFP上伊那・高教組からの参加者が次々報告。被爆の実相や佐世保港が米軍の軍港になっていることなどを知る中で、核兵器を世界から無くす取り組みへの決意が語られました。

また、宮下与兵衛・首都大学東京特任教授が「核兵器禁止条約を批准させ、安倍九条改憲をさせないために」と題して特別講演を行い、安倍首相の改憲案は、日本を世界のどこでも戦争できる国にすることを狙っていること、核兵器禁止条約こそ世界平和の道であることを資料を提示しながら詳しく話し、まとめとして、選挙に勝つ

て安倍改憲をつぶしましょう、と結びました。

参加したIさん（60代・女）は、
「立派な報告集（写真）も出され、

北朝鮮問題の
解決法も聞く
ことができて、
参加してよかつ

たです。」と
の感想を寄せ
ました。



「平和を守ろう・
安倍内閣倒そう」行動

「安倍政治を許さない」行動日の9月3日、手良9条の会は中坪の9月3日、手良9条の会は中坪交差点で6人が参加。竜東と東春近の九条の会は、ベルシャイン前に11人が参加して行いました。

11日朝、平成大橋もとで、共産党伊那市委員会呼びかけの「共謀罪廃止」を求めたスタンディングが行われ、14人が参加しました。

また、19日早朝の、戦争法廃止を求める行動には、高遠町9条の会が三峰川橋もとで8人の参加。竜東橋北交差点では、東春近と竜東の九条の会がスタンディングに取組みました。

青年らは毎週水曜日の朝、大萱交差点で平和を呼びかけています。

9月市議会

小・中・新一年生の入学準備金 入学前支給が実現！

小・中学校の新一年生に支給される就学援助の入学準備金が来春から、入学前に支給されることになりました。

これは、9月議会の飯島光豊議員の一般質問に教育委員会が答えたものです。中学1年生については来春から入学前支給を飯島議員に、すでに答弁していましたが、今回の答弁で、伊那市では、来春から、小・中学ともに、新1年生の入学準備金の

入学前支給が実現することになりました。

就学援助とは、経済的理由で就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に、市町村が必要な資金援助をする国の制度です。伊那市では、小学生の10人に一人、中学生の8人に一人がこの制度を利用しています。

これまで、新1年生への入学準備金の支給は、入学後の7月でした。お金が一番必要な入学



林道のゲリラ豪雨被害は 放置できない

前沢けい子

7月31日の夜、

伊那市の中央部付近で1時間に100ミリ以上の大雨が降ったとして、長野県は記録的短時間大雨情報を発表しました。

伊那市の中央部という市民の多くは伊那市駅付近を想像しますが、その場所は高遠町の長藤地区で、地図で見るとそこはまさに伊那市の中央部といった位置です。長藤中村地区には国交省の藤沢雨量計が設置されており、この雨

量計の数値が県の大雨情報につながったようです。

この雨で付近は大きな被害が出ました。被害道路の一部は災害復旧の予算が付いたのですが、多くの林道は放置されたと林道が雨でえぐられて、大きな石がごろごろとむき出しになり、まるで川のようになっています。

県の森林税はこんな所にこそ使ってほしいものです。

式前の2月に支給してほしいとの要望が寄せられていました。

この実現に、保護者の皆さんから喜びの声が届いています。



市営住宅建て替え時 弱者に配慮へ

市営住宅建替え時に、仮住まいが必要になる高齢者・障がい者・母子父子家庭への配慮をと質問しました。

既に、若宮団地も募集停止となり、安い住宅は無く、単身で申し込めるのは城南町団地のみです。城南町は人気が高くなかなか募集はかかりません。そこで、3DKでも単身者が入れるようにや、高遠・長谷の中所得者向けを低所得者向けに一部転換をと質問。

市長から「長野県のように減免制度を作ることを検討する。また、空いている住宅を低所得者向けに転換も考える」との答弁がありました。

仮住まいに困っている人への朗報になりました。

(柳川ひろみ)

上伊那の米価闘争

境 有 賀 光 良

6

一九六五年は消費者米価の値上げから

この年、政府（佐藤栄作首相）は一月一日から消費者米価を平均一六、二％引き上げました。当時、米の値段は諸物価の基準となっていた時代でしたので、以後、生活必需品の値上がりに大きくひびいていました。さらに政府は「生産者米価を上げれば、消費者米価を上げる」という「スライド制」を実施して、農民と消費者を対立させ、マスコミを動員して、農民のたたかいを困難にさせようという動きを強めました。

米価闘争の牽引者 上伊那労農会議

共産党の松田晴男県議を議長に、日本農民組合、上伊那地区評、農協労連、同従連、全農林、伊那市連青、上伊那郡青、農協青年部、同婦人部で構成された共闘組織で上伊那の米価闘争を牽引してきました。

伊那市営球場で、五千人の総決起大会

上伊那米価対策委員会（上伊那農協組合長会、農協従連、農協労連、日農、全農林などで構成）は六月二十九日午後二時から伊那市営球場に農民・労働者約五千人を集めて、六五年産米価要求総決起大会をひらきました。

この大会で①150キロ（一石）平均1万8986円（農協米対の要求） ②食糧制度の堅持、スライド制反対 ③農畜産物価格の保障の三つの要求を確認し、集会のあと伊那市駅までデモ行進を行いました。

随想

党とともに50年

西簗輪・大萱 城田洋子(71)

50年前、高校を卒業して2年目で日本共産党に入りました。少し早かったかなとも思いましたが、もう50年もたつんだなと感慨深いものがあります。

立派なことをしたわけではありませんが、本や「しんぶん赤旗」を読んで、共産黨員だということをわすれずに生きることが大事だと自分に言い聞かせています。

なにがあっても「共産党は、命をかけて戦争に反対し、労働者や貧乏人、暮らしに困っている人のためにある」ことを信条に、攻撃を受けた時も党にしがみついて生きてきました。共産党はしっかりした考えを持ち、スジを通し、ブレないのが良いところです。「死んだら、真剣に生きてきた黨員なら赤旗で包んでもらえる」と友だちから聞いたので私も是非そうしてほしいです。

ベーチエット病になり、今は、仲間の近くの施設に入れて嬉しいです。選挙になれば入所者や職員みなさんに「共産党と〇〇さんに投票して」と声をかけています。総選挙が近いようなので、身近な人に党や野党の候補に支持を広げたいと思っています。

もっと共産党と共に生きたいです。(談)

風物詩

アケビどっさり



秋の山の幸の一つアケビを戴きました。ネットに「皮をそぎ切りにして水にさらし、天ぷらにするとおいしい」とあったので試してみました。お勧めです。(写真・文 市川)

催し案内

☆ 映画「東京原発」上映会

10月7日(土) 午後2時～3時50分

お話会 4時～4時40分

宮田村民会館

協力金 300円(高校生以下無料)

主催: さよなら原発上伊那の会

連絡先: 事務局(上伊那医療生協組合員センター内)
(79-8702)☆ 第8回「満蒙開拓義勇軍」シンポジウム
子どもたちの「満州開拓」

学校はどのように青少年義勇軍とかかわったか

—上伊那における青少年義勇軍—

10月14日(土) 午後1時30分開会

いなっせ5階 資料代500円

主催: 実行委員会 連絡先: 唐木達雄(85-4070)
橋本明典(73-7325)

☆ 講演「戦争体験を語る」—内田かつ子さん

10月14日(土) 午後1時30分～3時15分

富県北福地集落センター

参加費はいりません。どなたでも参加できます。

主催: 富県九条の会

連絡先: 竹松主裕・小林征一

☆ 高遠町9条の会は11月12日(日)に

満蒙開拓記念館などを訪れる予定

*お知らせ: 前号でご案内した「赤旗信州秋まつり」は、衆院「解散・総選挙」の情勢のもと、中止となりました。ご理解・ご協力よろしくお願い致します。

☆ アベ政治を許さない行動

10月3日(火) 午後12時20分～

ベルシャイン前・手良中坪交差点

主催: 九条の会など

☆ 共謀罪法廃止行動

10月10日(火) 午前7時半～8時

平成大橋もと 共産党が呼びかけ

☆ 戦争法廃止行動

10月19日(木) 午前7時15分～

竜東橋北交差点・三峰川橋もと

主催: 九条の会など

☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半

いなっせ北側広場(さよなら原発上伊那の会)